

笑顔はじける 団地 TOPICS

みんなで団地内を歩こう！ 新緑を楽しむ「ウォーキング大会」

富田（大阪府高槻市）



「四季折々の豊かな自然を楽しみながら健康づくりを」との思いから、敷地内に三つのウォーキングコースが誕生した富田団地。晴天に恵まれた5月4日、そのお披露目も兼ねて自治会主催によるウォーキング大会が開催されました。

連休中にも関わらず、当日は100人を超える住民の皆さんが参加。自治会のスタッフ陣も力を合わせ、安全で楽しいウォーキングを見守りました。午前10時、またセンター前に集合。全員で準備体操をした後、いよいよ出発です。「ゆっくり自分のペースで」「水分補給を忘れずに」とアドバイスをいただきながら、それぞれの歩みを楽しみました。

案内板や黄色いラインで分かりやすく誘導された「並木のみち」。コース内にある倉庫の壁には、12種類の動物たちがいきいきと描かれています。春には「お花見会」でにぎわう桜公園で、ちょっとひと息。木の幹に隠された番号札を探す宝探しもワイワイと盛り上がりました。無事にゴールし、参加賞や景品を手にした参加者は「普段は団地内を一周することはないので楽しかったです」と満足げ。自治会長の澁谷哲男さんも「これからも健康のために活用してもらえたら」と笑顔で語っていただきました。



1. 親子連れやご近所同士など、たくさんの方が参加 2. 木々の間をのんびりと歩きました 3. 「道ばたで見つけたお花でつくったよ！」 4. 馬やキツネなど、動物たちに出合う楽しみも

みんな DE ガーデンプロジェクトのワークショップ 庭づくりを見て、聞いて、体験して納得！

藤沢台第5（大阪府富田林市）



住民の皆さんのガーデンライフをサポートする「みんな DE ガーデンプロジェクト」。庭づくりに関するアンケートで最も多く寄せられた悩みごとは、雑草対策と土の掘り起こしでした。こうした問題を解決するために、藤沢台第5団地では園芸道具のレンタルを開始。5月18日、新しく仲間入りした耕うん機やスコップなどの活用法を学ぶワークショップを開催しました。

まずは、機器の使い方のレクチャーから。ガーデンコーディネーターの杉本先生の説明を聞きながら参加者が順番に操作し、草の生い茂った空間がスッキリと生まれ変わりました。続いて、実際にお住まいの庭を使って、「抜いて、耕して、植える」という一連の流れに挑戦。雑草を取り去った後は、水はけ用の石と堆肥を耕うん機で混ぜ合わせるといふ土壌改良についても学びました。

休憩時間は、集会所でお茶を飲みながらほっとひと息。「専用庭がいなどと思って引越しました」「耕うん機を借りるのが楽しみです」など、参加者同士で庭づくりへの思いを共有。園芸道具のレンタルは、毎月1回実施している「お庭の相談会」の日と同時に開催しています。ワークショップ終了後に、さっそく予約表を記入する姿も見られました。



1. クワやスコップも併用しながら掘り起こします 2. お庭づくりの良いきっかけになりました 3. 自己紹介で交流を深めた休憩時間 4. レンタル当日は使用方法の説明など、先生の付き添いがあります

さまざまな団地で行われた イベント活動をお知らせします。

ルールを守って安全に長生きしよう！ 「高齢者のための交通安全教室」を開催

観月橋（京都市伏見区）



7月3日、団地集会所で「高齢者のための交通安全教室」を開催し、安全な日々の暮らしに不可欠な交通マナーについて、団地にお住まいの24人の参加者が学びました。

観月橋団地のそばには、高齢者の交通事故が増えている国道24号が南北に走ります。しかし、団地からの道路と国道24号が交わる交差点は、横断禁止にも関わらず渡る人が絶えず、その危険性が指摘されてきました。こうした中、桃山交通安全推進委員会と観月橋団地自治会の共催によって、伏見警察署から講師をお招きし、守るべき交通ルールや日常で注意するポイントをお話いただきました。

写真やイラストがふんだんに使われた紙芝居を見て、ゲームやクイズ形式で各自が考えながら答えを得ていくスタイルで進めました。講師が「時速60キロの車は1秒間で17メートル進むですよ」と言うと、「そんなに!？」と驚きの声が上がると、身近なテーマだけに参加者も皆、興味津々。参加者からは「よほど足が速い人でないと、車道を横断することは無謀だと分かった」という声が聞かれ、事故を未然に防ぐためにそれぞれが大きな学びを得ていました。



1. 後出しジャンケンによって脳の活性化を図りました 2. 写真やイラストで分かりやすく解説 3. 自転車のマナーブックを食い入るように見る参加者 4. 童謡「ウサギとカメ」の歌詞を変えた交通ソングを全員で歌いお開きに

美団地

KANSAI

祭りの灯り
パークタウン西武庫
(兵庫県尼崎市)



団地の美を発信中！
@vidanchi_kansai

vidanchi.jp/kansai
@vidanchikansai



グリーンマネージャーと行く みどりの散歩道

第3歩 災害と団地の景色

団地がシンボルを取り戻すまで

2018年は度重なる台風や豪雨が発生し、私が担当する京都や滋賀の団地でも被害を受けました。桃山南団地（京都市伏見区）では、南北に走る名物「ケヤキ並木」が被害を受け、根から横倒しになった木もあったことから、今後の台風や豪雨による倒木被害にそなえて、危険と思われる木は伐採し、残った木も棟と同じ高さまで短くすることになりました。

ケヤキは本来逆さまにしたホウキのようにゆやかに広がっていくのがいいとされますが、これまでの「ケヤキ並木」

は密度が高く、上に伸びざるをえない状態でした。今は本数が減り、短くなったことで一次的に寂しい状態になりましたが、ケヤキらしい樹形の並木風景を再び目指していきます。

とはいえ、木々が弱っているので、まずはしっかり芽を吹かせて、樹勢を取り戻すことが最優先で、その後剪定をスタートさせていきます。ケヤキらしい姿を取り戻すまで、ぜひ長い目で見守ってください。

教えてくれた人 (株)URコミュニティ京都住まいセンター
グリーンマネージャー 佐々木 康光さん



1. 緑のトンネルのようにメインストリートを彩っていたケヤキが多く失われました 2. 被災しなかったケヤキ。比較すると一目瞭然 3. 佐々木さんの好きなドウダツツジは桃山南の名物。「今年はフトコロ(木の内側)まで花が咲いてきれい」と住民の皆さんから愛されています

団地テナント 気になるお店 vol.15

もったいない市場 中登美第3（奈良市）

「旬の駅」発！新鮮な野菜を格安で

半額市と書かれたのぼりが目印の「もったいない市場」は、週に2日、「旬の駅」ならやま本店がオープンする野菜直売所です。農家さんの委託販売を手がける本店では、商品は毎日入れ替えるシステム。残ったものは返品して、そのほとんどが廃棄されていきました。これが、「大切に育てられた野菜や果物が、まだまだ新鮮なのにもったいなくて」とスタッフの悩みの種になっていました。ならば格安で提供しよう、4月から本店における売値の半額で販売

をスタートしたのが「もったいない市場」の始まりです。午前9時半の開店前には、すでに20人ほどの列がズラリ。「ものが良くって安い。言うことなしやね」とお客さんも皆、満足げです。特にイチゴの時期は大にぎわいで、何バックもまとめ買いをする人が多いそう。半額であっても、販売することで農家さんの励みにもなっている「もったいない市場」。中登美第3団地で大人気の直売所、これらが楽しみです。



1. 「もったいない市場」の始まりです 2. 「もったいない市場」の始まりです 3. 「もったいない市場」の始まりです

SHOP DATA

奈良市中登美ヶ丘1-4162-1-D17-107 ☎070-1367-4216 ☎水・金曜の9:30～13:00
近鉄けいはんな線「学研奈良登美ヶ丘」駅から徒歩約12分、または近鉄奈良線「学園前」駅から徒歩約9分「中登美ヶ丘団地」下車徒歩約5分

イベントカレンダー

近日中に団地で開催されるイベントをご紹介します！

小・中学生向けわくわくどきどき「ミルク教室」

浜甲子園なぎさ街(兵庫県西宮市)・集会所

日本乳業協会から講師をお招きし、優れた栄養素について学べるセミナーや、牛乳を使ったドリンクづくりの体験を行います(要予約)。
①8月20日(火)13:00～14:00 ②無料 ☎06-6419-4522ガイダンス③(URコミュニティ 阪神住まいセンター)

中登美第3団地 夏祭り 中登美第3(奈良市)・集会所前広場

広場を人が埋め尽くす圧巻の盆踊りをはじめ、多くの出店や演奏、パフォーマンスが楽しめる恒例の夏祭りです。
①8月31日(土)16:00～21:00 ※小雨決行。雨天の場合は9月1日(日)に開催 ☎0742-41-5541(アンティーム)

ちょっと「お釈迦さまの時間」 武庫川(兵庫県西宮市)・12号棟集会所

真宗大谷派 念佛寺(兵庫県西宮市)の土井紀明住職による講話です。
①9月9日(月)13:30～14:30 ②無料 ☎0798-49-3534(武庫川団地管理サービス事務局 生活支援アドバイザー窓口)

まどのHPでは紙面に掲載できなかったイベントも掲載中！
https://www.ur-mado.net/event/event.php



NEWS コミュニティニュース

幅広い品ぞろえで毎週大にぎわい！ 便利な移動スーパーで気軽にお買い物

木曜午後3時過ぎ、「とくとく、とーく、とくし丸……」と団地内には流れる軽快なテーマソング。移動スーパー「とくし丸」の到着を楽しみに、少しずつ広場に人が集まり始めます。徒歩10分ほどのところにスーパーがある鈴蘭台第1団地。しかし、居住者の高齢化に伴い「歩いて行くのが大変」という切実な声が増えてきたそう。そこで、URと関西スーパーが協力して、5月から団地内でお買い物ができるように移動スーパーの運営を始めました。野菜や果物、お惣菜から日用雑貨まで、軽トラックには約400アイテム・1200点という圧巻の品ぞろえ。「今日はトマトが100円引き」「そのスイカ甘いよ」と、店長の到着を楽しみに、少しずつ広場に人が集まり始めます。普段は店舗で買い、牛乳やトイレトペーパーなど重いものやかさばるものは「とくし丸」でと、上手に使い分けをしているという方も。希望の品を気軽にオーダーできるのもうれしいシステムです。「買い物カゴを手に、世間話に花が咲くようですね」と自治会長さんにもっこり。毎週木曜午後のひとときは、居住者同士の憩いの場にもなっています。

鈴蘭台第1（神戸市北区）



1. 週1回の販売を楽しみにたくさんの方が足を運びます 2. 関西スーパーが取り扱う幅広いアイテムがズラリ 3. 広場を拠点に他の場所での販売も検討中ですと野見山店長